令和 4 年度第 3 回 FD 研修会「大学における国際化」報告

文責:上原なつき(国際学群国際文化専攻)

令和4年11月30日(水)、第3回FD研修会「大学における国際化」がオンラインにて実施された。最初に、木村堅一FD委員長による開会のあいさつ、続いて、大谷健太郎国際交流センター長による「本学における『大学の国際化』の取り組みと今後の課題について」の報告があった。留学生の受け入れ・派遣の現状について、まだコロナ禍ではあるものの少しずつ再開しており、中期計画にしたがって今後はカナダ・オセアニア地域との交流に力を入れていくとのことであった。旺文社による2020年度の大学の国際化に関するランキングにて「長期留学した日本人学生が多い大学」という項目で全国91公立大学中、本学はトップ3に入っており、国際交流は本学の「売り」となっている。今後にむけて「グローバル教養プログラム」の開発・準備も進めているとのことであった。

次に、学内の国際化の実績と課題を把握するため、授業の取り組みについて共有すること を目的とし、各学系・学科で実施されている科目の報告がされた。

まず、屋良健一郎国際学群国際文化教育研究学系長より「現地実習」について報告がなされた。現在は10コースあり、現地での集中講義、フィールドワーク、現地学生との交流など、単なる語学研修とは異なり、地域研究に主眼をおいた独自の「手作り」のプログラムであるとのことであった。コロナ禍においてはオンラインによるワークショップ、県内施設の見学などの工夫がなされた。今後の課題としては、受講生の語学力、学生の費用負担と実習内容のバランス、準備・引率を担う教員の業務負担軽減と研究時間の確保などが挙げられた。続いて、新垣裕治国際学群観光産業教育研究学系長から「海外インターンシップ」について報告があった。コロナ前は複数の国で実施していたが、コロナ禍においてはシンガポールのみでの実施となった。累計77名の学生が受講しており、77%が女子学生である。課題としては、コロナ禍で観光業界全体が打撃を受けているため、今後の実施が不透明であること、英語以外の言語の事前教育、海外ではインターンシップは通常半年程度のため1か月ではなかなか受け入れてもらえない、などが挙げられた。今後の対策としては、県内外資系ホテルで事前に実習し、系列の海外ホテルでインターンシップをすることで短い期間でも充実した内容にするなどの案が挙げられた。

次に、人間健康学部看護学科の横川裕美子教授より「国際看護学Ⅱ」について報告がなされた。国際看護学では多様な価値観・文化の共存を目指す。コロナ禍において 2020 年度は開講せず、2021 年度はオンライン、2022 年度は海外で実施した。現地の言語や文化の違いだけでなく、性的少数者の活動についても学んだ。また、タイ北部農村でホームステイを実施し、現地の文化、看護、保健ボランティアの取り組みについて学んだ。現地の人々に歓迎していただいたことで、参加学生は共感的配慮について身をもって実感することができた。今後の課題としては為替レートの変動による費用負担などが挙げられた。

続いて、リベラルアーツ機構の山城智史上級准教授より「海外スタディツアー」について報告がなされた。2019 年度は中国・南開大学の日本語学科の学生との交流、中国茶専門家による集中講義、故宮博物館や万里の長城などの訪問、天津・北京について事前調査した情報と現地で得られる情報との比較などを行った。集中講義は全て中国語でなされたが、引率教員が通訳するのではなく、現地の日本語学科の学生が通訳するなど、現地学生の実践の場としての役割も果たした。コロナ禍のため、2021 年度はオンラインで実施した。異文化理解、海外同年代学生とのネットワーク構築、語学力向上のモチベーションなどに繋がっている。今後の課題としては、双方にメリットのある内容となるよう日本語学科と協力することが重要との提案がなされた。

最後に、砂川昌範学長より閉会あいさつがあり、今後は協定校との教員間の交流を活性化 し、学生だけでなく教員の国際交流にも取り組むことで相乗効果が生まれるのではないか との意見が述べられた。

筆者の所感としては、筆者自身も現地実習を担当しているので、各科目とも担当教員の努力のもと特色ある内容が実施されていることがわかり、勉強になった。また、学生の費用負担など共通する課題があることもわかったので、円安の影響でますます厳しい状況になることが予想されるが、本学の特色ある国際交流が継続・発展するよう、今後もこのようなFD研修会などを通して情報共有できるとよいと考える。



オンライン開催の様子



留学生の受け入れ・派遣の現状 当日資料より



海外インターンシップ派遣先 当日資料より



実習の様子 当日資料より